2020.10 No.294

(F-1)

4

(公社) 大阪府鍼灸師会会員は会費に含む





## 素問勉強会 八月

講師:日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

● 日 時:令和2年 8月 9日(日) ● 会 場:大阪府鍼灸師会館 3階 ● 出席者:会員13名(うちWeb3名)

一般 14名 (うち Web3 名)

\*COVID-19感染予防のため本年3月より7月まで、五回の講義が休みとなりました。ようやく八月度より素問勉強会の再開を果たせました。当日の講義は同じ時刻にウェブ配信も行いました。

「病気の反応はからだの表面にあらわれる」「(体内はどんなふうにしても見ることはできない。) 見ることのできるのは扁鵲という人物だけだ」

## ・八月特別講義『鍼灸病證学の構想』

### はじめに

きょうはやっと元に帰って大阪府鍼灸師会会館で出来る のは非常にありがたいことです。

きょうのテーマは『鍼灸病證学の構想』です。

### I 病証の前提

#### 01 可視物(物)の認識

体表と体内のふたつがある。体表は諸々の外から見える もの(頭、面、肩、胸、手、足など)

体内は、外から見えないもの(臓器、筋、肉、骨など)

# O 2 可視物の不可視化→視ることも触れることもできない〈気〉への転化

血管から大量の血が出ると死んでしまう。ものを食べないと死んでしまう。息が止まると死んでしまう。古代の人もこれらの認識は出来ていた。そこから体の中をイメージした。

イメージしたもの:五蔵、六府、経脈、兪穴、気血、営衛、 津液、皮・脈・肉・筋・骨で表す深さの五行的分類など⇒〈気〉 への転化、実体的な「物」ではなく「気」になった。

〈気〉を表現する名称には「風」や「寒」など体外から体内 に関する影響の関係性を表す言葉もある。

03 「病の応は大表に見る」「五蔵癥結を見る」 (『史記』篇鵲倉公伝)

## 04 可視の〈物〉と不可視の〈気〉の混淆

『霊枢』という本の「腸胃篇第三十一」と「平人絶穀篇第三十二」、『難経』という本の「第四十二難」「四十三難」「四十四難」に出てくる腸胃という概念は、ものを食べる口から肛門までの間の器官というものに具体的に名前をつけている。そしてどういうふうに食べたものが上から下のほうに下りていくかを非常にリアルに、臓器の長さまでをも緻密に書いている。

この本には、「腸胃篇」以外にも、体表を測った「骨度 篇第十四」がある。なんと経脈の長さを測った「脈度篇第 十七」という篇もある。気血あるいは気というものが、体 内を一日にどのくらい巡っていくかという換算もしてある という篇がある(衛気行篇第七十六)。そういう篇と腸胃篇、 平人絶穀篇は同じ系統に属する篇だと思われる。

『霊枢』「腸胃篇第三十一」や「平人絶穀篇第三十二」については、ふたつの点について注意するところがある。ひとつは、これらが現代の外科的な目的で書かれたものではないことである。後漢・三国時代(後漢25~220年、三国220~280年)の史書に見られる外科の記載はそのままでは受け取り難い。また明・清代(明1368~1661年,清1662~1911年)の後代の外科も五蔵には及ばなかった。当時の外科は、現代の皮膚科と外傷打撲・骨折そういうものを外科としていた。主に扱うのも打撲・骨折そういうものを外科としていた。主に扱うのはなばない。「外科」という言葉は今、普通に使われている。内科に対しての外科だと言う。しかし本来は外というのは表側という意味である。(中国医学では)表側を対象にした治療が外科、内側にあるものが内科である。

もうひとつ、両篇の記載に書かれた諸藏は一見六府に見 えるが、実は本質的にはそれとは非なるものであることは 自明である。六府には〈気〉としての側面(五藏としての

## Contents

F-1

・素問勉強会

F-2

・素問勉強会

F-3

・講習会案内

F-4

- ・講習会案内
- ・行事予定

表裏関係はこれに属す)と、この両篇のような生理解剖学的 側面がある。そして六朝(3世紀初頭~6世紀末)以降は、 その生理解剖学的な側面は忘却されていく。

忘却されてないではないかという例として漢代や北宋での 処刑時の解剖がある。『漢書』王莽伝所載、王孫慶の解剖が ある。紀元16年のことである。

北宋時代、欧希範の解剖、これは有名である。処刑された人の蔵府の図を書いている。『欧希範五献図』(1045年)がこれである。その改訂版として楊介の『存真環中図』(113年)というものがある。これはよく取り上げられる。それからもうひとつ『霊枢』「経水篇第十二」に「解剖」という文字が出てくる。

ほら見たことか、解剖がまさに今の伝統医学を作っている じゃないかというふうになるが、しかしこれらの解剖は中国 医学の本質に影響を与えなかった。

#### すぎたげんぱく

杉田玄白たちの『解体新書』の刊行も、実は中国医学の本質を震撼させたわけではなかった。もともと実体の臓器をあつかう解剖学を学の根底に置いていなかった「気」の医学である中国医学にとって、体内の「気」「気血」「津液」「五蔵」「経脈」、体表の「兪穴」は気の医学が完成した時、物質では無い別のものであった。それは現在も変わらない。

『解体新書』が出て世間の医者が、あっと驚いたという事はない。多紀元簡が「解剖というものは外科的なものにとっては意味があるが、内科的なものには意味が無い」ということを書いている。

経脈は血管である、五藏というのは臓器であると考えた人は衝撃を受けたと思う。いつもそこがあいまいになっているので、あいまいな領域にいる人にとっては、本当に解剖して正確に中身を表したものが『ターヘル・アナトミア』(\*『解体新書』の底本の一つ、オランダ語)だと言われれば、これは中国の『欧希範五蔵図』より、はるかに精密であるから、参りましたと白旗を上げるしかない。

しかし当時の一般の臨床家にとって、たとえば古方派や江 戸後期の考証学派・折衷医家にとっては解剖というのは、実 はそれほど影響はなかったろうと思う。

もう一つ、これはついでに言っておかねばならないことがある。『解体新書』を作った人たちが、ヨーロッパからやってきた新しい臓器の概念を翻訳する際、東洋医学の言葉を使ったことである。意図的であったかどうかはわからない。これはおそらく杉田玄白自身が充分に東洋医学のことを知らなくて、古代の中国医学に出てくる「肺」というものは、『ターヘル・アナトミア』に出てくる「ラング(LONG【蘭】、LUNG【英】、LUNG【 英】、LUNG 【 英】、LUNGE 【 独】)」と同じものであると思った可能性がある。

現代は中国医学の「肺」と西洋医学の「ラング(肺)」の概念がごちゃごちゃになって区別がつかなくなってしまっている。

中国医学の「五藏」や「経脈」も出発点は「物」である。 そのため後々まで「物」と「気」の混淆を避けることはでき なかった。

### 05 〈気の医学〉の基礎にある病態観 (張介賓著『類経】』 蔵象類による)

からだの内側に「気」がある。からだの外側に「形」がある。 「形」とは、さまざまな身体部位とそこに起こる諸症状、生 理的・病理的な現象、脈状など外側に表れるものをいう。

「気」というものは陰陽論と五行論によって構造化されている。同じようにからだの外側にある「形」も陰陽論と五行論で組織されている。陰陽論と五行論で組織されるとはどういうことか、それは肺なら肺だけを単体で考えるのでは無い、ということだ。肺と肝の関係や、肺と腎との関係など、常に他のものとの関係を考えるということである。皮膚の表面も同じである。筋・肉・骨という名前になるが、これらも陰陽と五行に整理されているので関係性が使われているのである。

これらがもっと複雑になると、陰虚や陽実・陽虚や陰実 という言葉になるのである。これらは、もっとずっと後の 時代のことである。

こういう類のことが出てきたのは『素問』『霊枢』の段階よりも、もっと前のことである。『素問』『霊枢』は、読む人によっては、南宋・金元明清医学よりも、もっと素材的な感じがして、様々な論理よりももっと前の素朴な人間の自然な感情が表れているという考えを生む。しかし、それはまったく間違っている。論理や抽象化の終着点として『素問』や『霊枢』が出てきたと言っても良いと思う。

#### 06 蔵府・経脈・兪穴の体系の成立

これは前漢以前から後漢にかけて行われている。

#### 07 診断カテゴリー(證)の形成

診察のカテゴリー学 (病證学) は時代により、さまざまな立論がなされて、変遷がはなはだしい。

どんな病證学も絶対のものでは無い。ある時期の学をかすめ取っただけのものなので、それらが特定の起源を持つということは忘れてはならない。

#### 08 カテゴリーの分類

楊上善の著作『太素』では、『素問』『霊枢』の文章中の病態を、「傷寒」「寒熱」「耶論」「風論」「気論」「雑病」に分けている。

張介濱は『類経』の中で、病態を「疾病類」に、李中梓は 『内経知要』の中で「病能」というところに記している。

『素問』の森を歩いてみませんか。こころざしは毎月休まず第二日曜、午前10時から12時まで大阪府鍼灸師会館3階です。COVID-19感染予防対策の下、勉強会のご案内につきましては本会ホームページをご確認ください。『素問』の森を歩いていたら、自然に『霊枢』の森へ続いていきます。

素問勉強会世話人 東大阪地域 松本政己

## 行事予定について

新型コロナウィルス感染拡大予防の為、自治体などの恒例行事の中止が続いております。 残念ながら下記大会も中止となりました。 活動再開時には、是非ご参加頂きますよう、お願い申し上げます。

2020年 要穴カルタ大会

2021年 高槻シティハーフマラソン大会

2021年 寝屋川ハーフマラソン大会

# 研修会(講座)案内

| 日時              | 令和 2 年 10 月 11 日 (日)  |
|-----------------|---|
|                 | 10:00~12:00   |
| 場所              | 大阪府鍼灸師会館 3階 または WEB 配信(ZOOM ミーティング)   |
| 研修会名            | 令和2年 10月度素問勉強会  |
|                 | 「素問」 陰陽類論篇第七十九注   |
| 内容・講師名          | 日本鍼灸研究会代表<br>篠原 孝市 先生   |
|                 | ◆会館での参加は先着 20 名、WEB 配信は先着 100 名とさせて頂きます。詳細につきましては、大鍼会ホームページをご参照して頂きますようお願い申し上げます。<br>東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位(各 2 単位)が取得できます。<br>GK カードを持参して下さい。 |
| 午前・午後通し<br>の聴講料 | 本会会員 ¥1,000<br>会員外 ¥2,000<br>学 生 無料 (WEB 参加限定)  |
| 申込              | FAX(QR コード)もしくは大鍼会ホームページ(Google フォーム)<br>会館での参加は先着 20 名とさせて頂きます   |
| 備考              | 会館での参加は先着 20 名、WEB 配信は先着 100 名とさせて頂きます。詳細につきましては、大鍼会ホームページをご参照して頂きますようお願い申し上げます。<br>東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位(各 2 単位)が取得できます。<br>GK カードを持参して下さい。  |
| 主催              | (公社)大阪府鍼灸師会   |

| 会館受講希望の方                     | WEB (ZOOM)                 | )受講希望の方      |
|------------------------------|----------------------------|--------------|
| (FAX または右記の QR コードか大鍼会ホームページ | (受講費の振込み先は、申込              | 込みフォームに記載してお |
| よりお申込み下さい)                   | ります)                       |              |
| フリガナ                         |                            |              |
| 氏名                           | 回报(2000年)<br>第2000年(2000年) |              |
|                              |                            |              |
| TEL                          |                            | 回数等等         |
|                              |                            |              |
| 地域名                          | 申込みフォーム                    | WEB 配信利用手引書  |
|                              |                            |              |
| FAX 06-63                    | 351-4855                   |              |

|                            | 令和2年11月8日(日)(受付13:00~)   |  |  |
|----------------------------|--|--|--|
| 日時                         | ①13:30~15:00<br>②15:15~16:45   |  |  |
| 場所                         | 大阪府鍼灸師会館 3 階 または WEB 配信(ZOOM ミーティング)   |  |  |
| 研修会名                       | 令和2年度 第4回(11月度)学術講習会 ハイブリッド開催(会館受講+ WEB 受講)  |  |  |
| ①「総合診療医が教える鍼灸師に必要な診察テクニック」 |  |  |  |
| 内容・講師名                     | 医療法人 弘池会 口之津病院<br>講師 寺澤 佳洋 先生  |  |  |
|                            | ◆私は明治鍼灸大学(現 明治国際医療大学)を2004年卒業(18期)した後に医師となり、早10年以上が経ちました。そのなかで、救急医療や総合診療・家庭医療と呼ばれる分野を中心に学んできました。鍼灸師の方々と医師向けのワークショップも開催しました。最近では、COVID-19の感染対策対応も行いました。今回の講習会では、私の経験も踏まえて、患者さんのハートを掴む診察テクニック、レッドフラッグを見逃さない診察プロセスや総合診療医が重視する考え方などを共有したいと考えています。これらのお話が皆様の今後の診療に少しでも役に立つ事になれば大変嬉しく思います。よろしくお願い致します。 |  |  |
|                            | ②「災害時における鍼灸治療の意義と診察力」  |  |  |
|                            | 帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科 教授<br>講師 今井 賢治 先生  |  |  |
| 費用                         | 本会会員¥1,000 会員外¥2,000 学生 無料 (午前午後通しの聴講料)  |  |  |
| 申 込                        | 要申込 (先着順 会館受講 20 名、WEB 受講 100 名)   |  |  |
| 備考                         | 事前申込みの上、定員は会館受講を先着 20 名、WEB 受講を先着 100 名とさせて頂きます。お申込みは 10 月よりホームページにて開始いたします。FAX での申込みにつきましては、次号フレッシュ掲載の申込み用紙よりお申込み下さい。<br>東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位(各 2 単位)が取得できます。GK カードを持参して下さい。   |  |  |

## ◆講習会に関する問い合わせ先

■ (公社) 大阪府鍼灸師会 ■ TEL: 06-6351-4803

〒 530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-6 (土・日・祝休み)

## 公益社団法人 大阪府鍼灸師会主要行事予定表 (9月10日現在)

| <u></u>       | (多月10日現在)。         |                |  |  |  |
|---------------|--------------------|----------------|--|--|--|
| 令和 2 年 10 月   |                    |                |  |  |  |
| 日時            | 主要行事               | 場所             |  |  |  |
| 8日 (木) 15:00~ | 生保審査会・相談会          | 会館2階           |  |  |  |
| 11日(日)10:00~  | 素問勉強会              | 会館 3 階 +WEB 配信 |  |  |  |
| 15日(木)19:30~  | 第4回 正副会長委員長合同委員会   | 会館 4 階         |  |  |  |
| 令和 2 年 11 月   |                    |                |  |  |  |
| 日時            | 主要行事               | 場所             |  |  |  |
| 8日(日)10:00~   | 素問勉強会              | 会館 3 階 +WEB 配信 |  |  |  |
| 10:00~        | 生保審査会・相談会          | 会館2階           |  |  |  |
| 13:30~        | 第4回 学術講習会          | 会館3階 +WEB 配信   |  |  |  |
| 12日(木)10:00~  | 第4回 正副会長会議         | 会館2階           |  |  |  |
| 15日(日)10:00~  | 第5回 理事会            | 会館4階           |  |  |  |
| 15:00         | 第2回 地域代表者連絡会       | 会館3階           |  |  |  |
| 令和 2 年 12 月   |                    |                |  |  |  |
| 日時            | 主要行事               | 場所             |  |  |  |
| 8日(月) 15:00~  | 生保審査会・相談会          | 会館2階           |  |  |  |
| 10日(木)19:30~  | 第 5 回 正副会長委員長合同委員会 | 会館4階           |  |  |  |
| 13日(日)10:00~  | 素問勉強会              | 会館3階+WEB配信     |  |  |  |
| 15:00~        | 第5回学術講習会           | 会館 3 階 +WEB 配信 |  |  |  |
| 28日(月)        | 事務局仕事納め            |                |  |  |  |